



世界初サッカーでまちづくり2023 三川根耐久サッカー世界記録に挑戦

実施概要・報告(記者会見、プレ大会)

2023年8月

【趣旨】

- ・「川根はひとつ」：文化的にも歴史的にも深いつながりのある三川根（本川根・中川根・川根）の絆を通じ、地域を超えた一体感を目指す。
- ・「まちづくりは人づくり」：行政や議会だけでなく、住民や関係者に主体性を持ってまちづくりに参画してもらう。
- ・「やらまいか精神の発現」：「まずはやってみよう」「チャレンジしてみよう」の川根の精神を全国・世界に発信する。

三川根とは、静岡県中部の大井川流域に位置する榛原郡川根本町及び島田市川根町のことを指します。もともと、本川根町・中川根町・川根町の3町でしたが、「平成の大合併」の際に本川根町と中川根町の2町は合併して川根本町となり、川根町は島田市と合併しました。近年、全国各地では少子高齢化が深刻な問題となっていますが、三川根においてもこうした問題に加え、若者の流出による人口減少も顕在化しています。

こうした状況を住民の手で打開していくには、どのような取組が必要か。まちづくりには、「わかもの」「ばかもの」「よそもの」が揃うことが条件ともいわれています。今、この三川根でも、「わかもの」自身が手を取り合い、内外の「ばかもの」の力を借り、多くの「よそもの」も巻き込んだ、他にはない取組が必要と考えます。

世界記録への挑戦は、あくまで手段と捉えています。このプロジェクトの企画・運営を通じて、三川根の住民の絆を深め、参加者が三川根と関わるきっかけを生み出し、そして「新しいことに挑戦できる三川根」づくりを目指します。

人口減少が止まりません。国や県がこれだけ対策を講じても改善されないんだから仕方がない。毎日、生活しているだけで精一杯なのに新しいことは余計なことだし、大きなことなんてできっこない。こんなマイナスな気持ちを吹き飛ばすイベントが、三川根の絆を復活させる「川根サッカー聖地化プロジェクト」です！

このプロジェクトは、「仕方がない」や「できっこない」への挑戦です。

そして、この挑戦は川根なら可能だと信じています。

みんなの力を結集させて、子供達に明るい未来を見せてあげましょう！人口減少が止まりません。国や県がこれだけ対策を講じても改善されないんだから仕方がない。

毎日、生活しているだけで精一杯なのに新しいことは余計なことだし、大きなことなんてできっこない。こんなマイナスな気持ちを吹き飛ばすイベントが、三川根の絆を復活させる「川根サッカー聖地化プロジェクト」です！

このプロジェクトは、「仕方がない」や「できっこない」への挑戦です。

そして、この挑戦は川根なら可能だと信じています。

みんなの力を結集させて、子供達に明るい未来を見せてあげましょう！

石原 一則

20年近く付き合いのある、我々が愛する川根が、ものすごい勢いで人口が減ってきているという話を聞き、自分に何ができるのか考え出てきたのがこのビッグプロジェクトでした！こんな時代だからこそ、3つの川根の絆が一つになり、みんなが繋がって力を発揮できれば、日本、世界に面白いものを魅せられると確信しています！

そして、このプロジェクトがきっかけで、子供達にとって、より魅力ある町に変貌していくことでしょ！

みんなでやり遂げましょ〜！！！！

すべてはサッカーのために！！！！

サッカーはすべてのために！！！！！！

球舞-CUBE- Marco.

◆実施概要

- (1) 日時 令和5年**11月23日（木・祝）正午から11月26日（日）正午まで（3日間・72時間）**
※試行《プレ大会》：7月5日（水）正午から6日（木）正午まで（1日間・24時間）
- (2) 会場 町営徳山グラウンド（旧中川根第一小学校）
（〒428-0301 静岡県榛原郡川根本町徳山100）※校舎も運営・参加者休憩所等で使用
- (3) 主催者 SUN川根スタンドアップ!プロジェクトチーム
実行委員長：石原 一則（元中川根第一小学校長）
副委員長：Marco.（世界的フットボールエンターテインメント集団「球舞」代表）
アンバサダー：名波 浩 氏（サッカー元日本代表）
- (4) 内容
11対11のフルコートサッカーの試合を、3,000人の参加者で**72時間**にわたって途切れることなく続けることで、ギネス世界記録の更新を目指す。
※現記録は、2016年に南米チリにて達成された2,357人。**参加人数の更新を目指す。**
※人数のカウント方法：最短でも10分間出場し、その間に一回でもボールに触れば「出場」したとみなされる。
※「ギネス世界記録」という表記は**9月以降**にて使用可能となるため、それまでは「世界記録」の表記とする。

◆後援

島田市・川根本町
※静岡県「東アジア文化都市2023」認証プログラム登録済

◆協力・協賛

- ・県内外・川根本町内・島田市内の企業
- ・川根本町内・島田市内の各種団体
- ・M I F A（Music Interact Football for All）<http://mifa.co.jp/>

◆運営資金

- (1) 参加者（選手）からの申込料：一人当たり5,000円（ユニフォーム代含む）を徴収
- (2) 協力・協賛企業からの協賛金



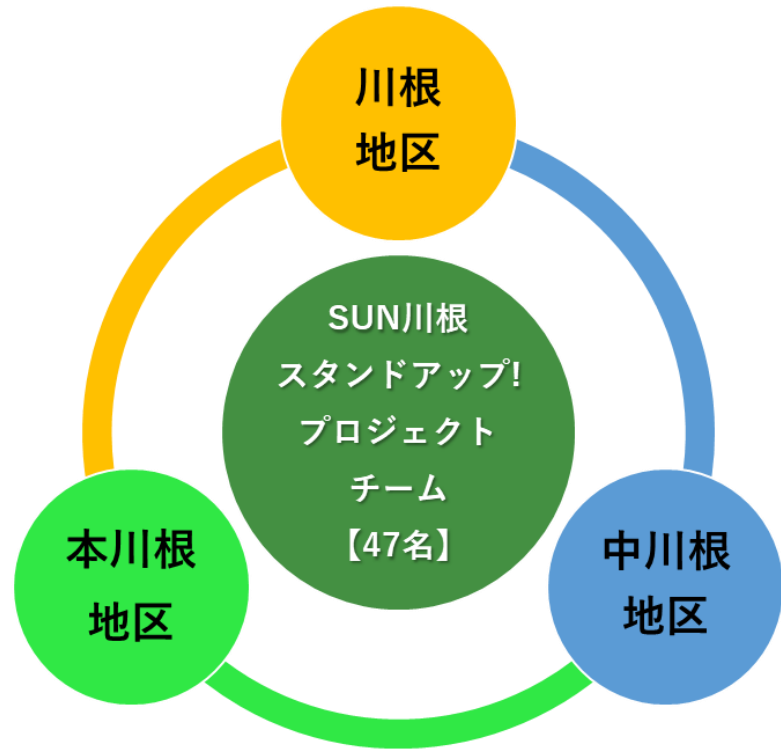
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
大会	<p>【プレ大会】 ◆6/19(月)～ 募集開始</p>	<p>【プレ大会】 ◆7/5(水) 12:00 ～6(木) 12:00</p>		<p>【本大会】 ◆9月9日～ 18日 第1弾募集 ◆9月24日～</p> <p>●→</p>	<p>10月2日 第2弾募集</p> <p>●→</p> <p>◆10月23日 第3弾締切</p>	<p>【本大会】 ◆11/23(木祝) 12:00 ～26日(日) 12:00</p>
広報	<p>【HP開設】 【SNS開設】 ※ゲスト情報を 随時解禁!</p>	<p>【記者会見】 ◆7/1(土) 13:30 ～14:30</p> <p>●→</p>				
地域交流	<p>【地域サッカー】 ◆毎週月曜 @川根高校 毎週金曜 @川根小 で開催中</p>	<p>【環境整備 &交流会 &マルシェ】 ◆7/1(土) 9:00 ～13:00</p> <p>●→</p>	<p>【名波氏 サッカー講習会】 ◆7/30(日)</p>			
協賛	<p>【協賛 初回締切】 ◆6/29(木)</p> <p>●→</p>		<p>【協賛 二次締切】 ◆8/20(日)</p>		<p>【協賛 最終締切】 ◆10月中旬</p>	

※2023年7月時点

まだまだ拡大中！

町民の連携

三川根サッカー
クラブメンバー
登録数【118名】



町民の連携

川根エリア
小中高校
児童・生徒数
【約600名】

SKYホールディング
静岡県・島田市
島田市サッカー協会・島田市観光協会

協力

球舞
川根本町・川根本町教育委員会
川根本町まちづくり観光協会・まちづくり川根の会

後援

U 2 株式会社・株式会社神田組・株式会社徳山建設
ゾーホージャパン株式会社・株式会社KAWANEホールディングス
株式会社Flashine・チェ・キバラ・堀電器店

協賛

株式会社アイビー川根本町・株式会社セنز石油・森脇建設有限会社・SKY Old sweets shop 川根だがしや店・SKYドローンスクール大井川・SKY ドローンスクール八王子・株式会社森崎工業・板山・伊藤板金・四季折々・梅野屋・有限会社加藤菓子舗・川根ガス株式会社・川根茶 高畑園 光庭園・有限会社榊原自動車修理工場・シティハイムYAMADA・瀧澤新聞店・居酒屋たむら・ちどり・塗装屋ナカベン・ともしび・なかむら塗装・西田屋クリーニング店・西村自動車修理工場・有限会社フジクリーン・民宿深山・八木建築・有限会社八木製作所・株式会社山関園製茶・有限会社大和ガス商会



◆実施報告：記者会見

◆実施概要

- (1) 日時 令和5年7月1日(土)
- (2) 会場 旧中川根第一小学校 体育館

◆来場メディア

- (1) テレビ テレビ静岡
- (2) 新聞 静岡新聞、読売新聞、朝日新聞

◆メディアの取り扱い

- (1) 新聞 静岡新聞：7月2日掲載
- (2) Web サッカーキング：7月4日掲載



川根地域「144時間耐久サッカー」挑戦 9月、世界記録3000人目標

2023.7.2

島田支局 池田悠太郎

川根地域（島田市川根町、川根本町）でサッカーを通じた地域振興プロジェクトが進行している。地元住民らが中心となり、参加者3千人を目標に9月17日から6日間（144時間）フルコートで11対11のサッカーを途切れることなく続ける「耐久サッカー」に挑む。2016年にチリで達成された120時間、参加者数2357人の世界記録更新を狙う意気込みだ。

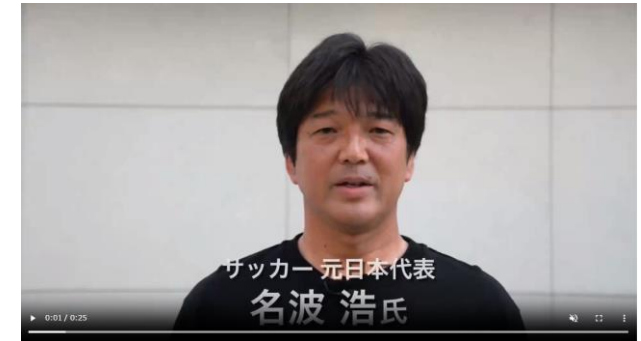


世界記録更新へ意気込みを語った石原一剛代表（右）とMarco、さん＝川根本町

▲静岡新聞



▲サッカーキング



▲アンバサダー 名波 浩氏 からの応援メッセージ

◆実施報告：プレ大会

◆実施概要

- (1) 日時 7月5日(水) 正午から6日(木) 正午まで(1日間・24時間)
- (2) 会場 町宮徳山グラウンド(旧中川根第一小学校)

https://youtube.com/playlist?list=PLzOS_Z2N_RvwndbidLAqPP2Aa7f0-kpa-



▲You TubeのLIVE配信

◆参加実績

- (1) 人数 331名(選手登録)
- (2) 年齢層 7歳から83歳の老若男女
- (3) ゲスト 山下 芳輝さん・蔵川 洋平さん・原 裕晃さん・盛田剛平さん(元プロサッカー選手)
FUNKIST染谷西郷さん(アーティスト)・ディエゴ・加藤・マラドーナさん(芸人)

◆メディアの取り扱い

- (1) テレビ テレビ静岡「イット」、静岡第一テレビ「every.しずおか」、tokaiケーブルネットワーク「トコちゃんワイド」
- (2) 新聞 京都新聞：7月29日掲載、日経新聞：7月30日掲載、毎日新聞：8月20日掲載、朝日新聞：8月掲載予定
- (3) ラジオ SBSラジオ「ヒデとキトーのFooTALK」、K-mix「モーニングラジラ」、J-WAVE「JUST A LITTLE LOVIN'」



◆実施報告：プレ大会

◆検証による再検討項目

(1) スタッフ人員の確保

プレ後のギネスサイドとのやりとりで明らかになったことは、参加者以外に、審判、監視員、証人等、運営サイドと独立した人員を確保しなければならないことがわかった。短期間でそれらの人員を確保するのは難しい。

(2) 気象の問題

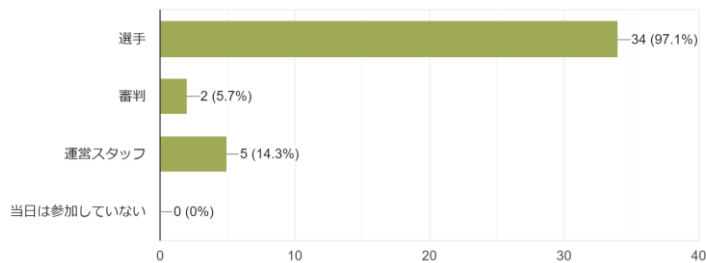
当初実施を予定していた九月は災害発生率が極めて高いことや、気象条件が安定しない月である。

◆全体所感

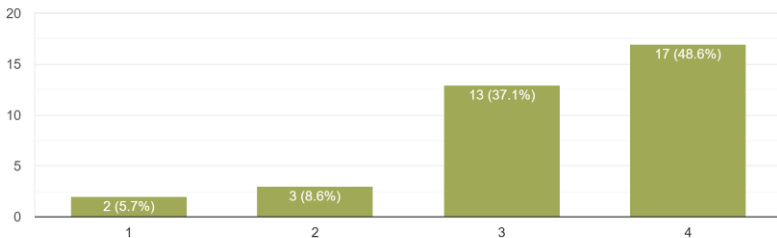
見えた希望とは、私たちが目指すサッカーは、性別や年齢を超えて楽しめるものであるということだ。出場された選手の皆さんの、プレー中やプレー後の言葉や笑顔から実感させられた。このプロジェクトは、世界に輝く地域作り、人づくりに必ずつながる、という思いを強くした。

◆参加者アンケート(回答35名)

参加した内容（複数回答）
35件の回答



参加した満足度
35件の回答



【出場（選手・審判）】に関する感想や意見・改善点 *抜粋

<高評価>

- ・良い意味で思っていたよりもグダグダ感が無く、参加されている皆さんがエンジョイしようとしていたのがよかったです。
- ・出場前の現地での説明が丁寧で良かったです。
- ・参加された選手、審判の皆さんが年齢や性別にかかわらず、配慮しながらのプレーが素晴らしかったです。
- ・年配の方や運動が苦手な人の参加にも温かい対応で良かったと思います。

<改善点>

- ・子供優先、おじちゃんおばあちゃん優先の時間帯があるとよいと思いました。
- ・交代選手がいなくて、1回待たされ30分後に当たりして、選手管理が煩雑だと感じた。
- ・出場時間枠の案内が曖昧。webが分かり難く、やり方や受付、出場など事前情報が不足
- ・グループで同時に出れたら良い
- ・審判が足りず、選手兼ねていたため大変そうでした。平日夜間の選手、審判の確保が課題ですね。

【運営(申込～当日対応)】に関する感想や意見・改善点 *抜粋

<高評価>

- ・当日のスタッフさんの対応は良かったと思います。
- ・明け方でもマルシェで食事を提供していただけたのはよかったです。カップラーメンのサービスも助かりました。
- ・ピブスの洗濯もよかったです。
- ・リアルタイムで参加状況がグラフ化されているのはとても良かったです。出れそうな時間の中から集まり方が弱いかも、という所に申し込むことで「自分も記録維持に協力したぞ」感が出ますね。

<改善点>

- ・夜の参加だったので、駐車場の位置が分かりづらかったです。
- ・導線をもっとしっかりやらなくてはならない。受付ももっと簡単でない当日厳しそう。案内図もちょっとわかりにくかった。
- ・スタッフの数が少なく、1人の方の負担が大いなのではと思いました。(特に受付とか選手の管理)また、選手の熱中症や急な体調変化への対応についても、交代で保健師や看護師経験者等が待機する必要があると思いました。
- ・申し込みの方法がネットを使える人達なら問題ないと思いますが、使えない人たちのことも考慮して書類、3川根地区には各地区の区長さんに交渉して回覧板などを通じて申し込み出来るようにすればご年配の方々もより多く参加できるのかなと思いました。
- ・申し込みが、締切時間後になってしまった為か、集合時間等の案内のメールが来ませんでした。その為、リアルタイムの名簿には、名前が載っていますが、申し込めたのか、ダメだったのかわからず、取り敢えず行ってみようとなりました。そのあたりのルールを明確にして頂きたいと思いました。